

特別講義 卒論・修論・レポートの書き方

2005年7月14日(木曜日) 会場：経済学部講義棟21

2室

経済学部 山崎圭一(教授)



【目次】

1 日本人学生に求められる能力

2 論文作成にはいる前に

- 2-1 まず部屋を整理する。書棚を買う。資金がなければ段ボール箱でつくる
- 2-2 調査・研究には、資金がいる。
- 2-3 何をどう始めるのか
- 2-4 下調べ：既存研究の到達点を明確にする
- 2-5 資料探し

3 論文作成の技術

- 3-1 構成
- 3-2 見出しの番号付け
- 3-3 小論文(ないし論文の中の1章分)の構成
 - (1) パターン1 論点整理型
 - (2) パターン2 意見陳述型
 - (3) パターン3 仮説証明型
 - (4) パターン4 事実報告型
- 3-4 注と図表と参考文献
- 3-5 論文らしい文章
- 3-6 論文の推敲
- 3-7 剽窃(plagiarism)を避ける
- 3-8 孫引きはしない

4 論文作成の「神話」、勘違い

- 4-1 個性と標準
- 4-2 意見とは何か
- 4-3 文章のタイプ

5 日本語を磨く

小テスト

1 日本人学生に求められる能力

有江先生の講義を拝聴して、思い出したこと：

日本人は誰と競争しているか？ パワーポイントで

2 論文作成にはいる前に

- 2-1 まず部屋を整理する。書棚を買う。資金がなければ段ボール箱でつくる
- 2-2 調査・研究には、資金がいる。

途上国の高級週刊誌(政治・経済・芸術などの総合誌)を自宅へ直接航空郵便で届けてもらっていた(年7万円)。1回調査にいくと、渡航費、滞在費、現地交通費、資料代などで、ブラジルの場合、70万円はかかった(すべて私費だったことも多い)。

2-3 何をどう始めるのか

・私はブラジル研究をしています、20年近くやっていますので、知識もある。これを題材にすると、みなさんと距離感が生じるでしょう。そこで、私自身あまり知らないことを題材に、みなさんと同じ気持ちで、以下考えてみたい。

・今、地域交流科目があって、フェア・トレードと、神奈川県下の外国人居住者の生活支援のあり方という2つのプロジェクトが動いています。いずれも、私はまったく知らない分野です。学生と一緒に作業をしているわけです。フェア・トレードが何かも知らないのですが、以下は外国人居住者の問題を題材に、考えましょう。

1) まずは状況把握のため、神奈川県に電話した。

でも、どの部局に電話するのか？

次々に関連部局を紹介され、最後に神奈川県教育委員会を紹介された。

実際にいって、担当者から30分程度であったが、話を聞いた。

2) 関連文献を読み、現状を把握する

同時に、研究の現段階を把握する

何が、既存研究に欠けているかを考える

私たちの場合(上記の外国人居住者問題)では、既存研究のどこにどのような弱点があるかは。8冊くらいの本をかって眺めていると、(1)ブラジル人の子どもたちの教育問題、(2)文化的アイデンティティに悩んでいる問題、といった、教育論と異文化摩擦論の領域の研究が多いことがわかった。

医療問題や保険問題があまり解明されていないのでは(現時点の、推定)。

3) ある程度、鳥瞰図が頭の中に形成されたら、実際に現場に行ってみる

(小学校や、ある地域の自治会や、支援NPOの事務所など)

4) 理論問題が何であるかと、探す。

今回、ある本に、サスキア・サッセンの理論との関係がかかれていた。

理論的分析のきっかけになりうる。

このような基礎作業に、1年間くらいかかります。2年生後半から3年生にかけて、取り組み始めてはどうでしょうか。

2 - 4 下調べ：既存研究の到達点を明確にする

以上の作業を通じて、既存研究の到達点を明確にする。

2 - 5 資料探し

ところで関連文献をどうやって探すのか？

- ・本屋で探す
- ・横国の図書館で探す O P A Cへ自宅のP Cからアクセス可能
- ・Amazon.com や、Kinokuniya Bookweb など大手書店のHPで検索する
- ・Yahoo や google で一般検索を欠ける
- ・買った本の注や、論文の注や参照文献にあげられた本を、実際に入手する。
- ・専門家(先生)に聞く
- ・研究機関のHPにはいり、無料でPDFファイル形式になった論文や統計集をダウンロードする。

3 論文作成の技術

3 - 1 見出しの番号付け

このレジメのようにするのが一例 ゼミの先生と相談してください。

- 1 ~ に関する 理論
- 1 - 1 理論の形成
- 1 - 1 - 1 形成期初期
- 1 - 1 - 2 中期
- 1 - 1 - 3 後期理論

- 1 - 2 理論の破綻
- 1 - 2 - 1 破綻の背景
- 1 - 2 - 2 破綻の要因

- 1 - 3 理論の社会的影響

- 1 - 3 - 1 日本社会への影響
- 1 - 3 - 2 欧米社会への影響
- 1 - 3 - 3 途上国社会への影響

3 - 2 構成

テーマによっていろいろですが、序論と、終章（結論）が、必要です。

| |
|---|
| 表紙 |
| 目次 表のリスト 図のリスト |
| 序論： 1 問題の背景と所在 2 論文の目的、証明したい内容、結論の頭出し 3 論文の構成 第1章では、～ 第2章では～ 第3章では～… |
| Main body: これはいろいろ 論文のメイン・パート |
| 終章： 1 内容のまとめ（結論部分への導入） 2 結論 3 課題（学会や社会にとっての研究課題、自分自身の研究課題、政策課題） |
| 説明注（各頁の下でもよいし、各章末でもよいし、論文末に集めることも可能） |
| 参考文献リスト （注にも参考文献が引用されることが多いので、注のあとにしなないと意味がない） |

3 - 3 小論文（ないし論文の中の1章分）の構成

（1）パターン1 論点整理型

なんらかのポイントが必要ですが、意見を述べることではない。意見を確定できない、複雑なことがらも世の中には多い。たとえば現代日本の少子化をどうみるか。こたえは簡単ではない。解答を得るための基礎作業としての論点整理も、立派な知的作業であろう。論点整理をした上で（ただし広く文献を渉猟すべし）、どの考え方がもっとも適切だと思いか、示唆する程度で、小論文やレポートとしては十分であろう。

（2）パターン2 意見陳述型

あなたが明確な意見を有しているようなテーマであれば、意見陳述もOKである。その場合、あなたの意見のみを主張するのではなく、想定される（あるいは既存の）反対意見を併記し、それへの反論を展開することで、レポートが立派な argument に化ける。また意見の根拠や理由に紙数を多めに割こう。感情的な主張よりも、客観的かつ冷静に根拠を淡々と述べたほうが、はるかに説得的な論文となる。意見そのものよりも、なぜそう考えるのか、その意見の根拠を論じることが、重要なのです。

(3) パターン3 仮説証明型

一番論文らしくて、よい

(4) パターン4 事実報告型

ある事実を丁寧に報告するのも、レポートの1つのパターンである。卒論の場合、卒論のすべてが事実報告だけというのは困るが、ある1つの章が事実叙述に特化することはありうる。その場合、その事実のどこが新しいのか。本当に従来知られていないことがらなのか。よく似た内容を伝えた関連文献は何で、それとあなたのレポートがどう異なるのか。そういった情報を付記すると、よいレポート(あるいは論文の1つの章)になる。

衝撃的な内容を報道するときほど、感情表現を押さえて(感動した、驚いた、泣いた、衝撃を受けた、きわめて、ものすごい、直視できない、魂が揺さぶられた、おそろしい、うれしい、などの表現は、一切使わない)、冷静に事実を叙述するのがよい。

ほかにもパターンがあると思いますが、そうしたパターンによって、起承転結のあり方が異なるようにおもいます。自分なりに構成を工夫しましょう。

3 - 4 注と図表と参考文献

・参考文献は、50や100は当たり前

ただし読みもしない、買っただけの文献を、リストに挙げては駄目。

・書き方

- 山崎圭一(2004)「ブラジルの地方自治体」横浜太郎編著『途上国の課題』
横浜国立大学出版会

- - - (2003a)「スイスの地域開発」『エコノミア』第30巻第3号、4月

- - - (2003b)「日本の住宅政策」横浜花子編著『現代住宅政策論』常磐出版

- Yamazaki, Keiichi (1995), "The Characteristics of the Japanese tax reform," *Economia*, Vol.40, No. 3, April.

- Yamazaki, Keiichi (1995), "The Characteristics of the Japanese tax reform," *Economia*, Vol.40, No. 3, April.

- Yamazaki, Keiichi (1995), "The Characteristics of the Japanese tax reform," Yokohama, Taro (ed.) *The Japanese Economy*, Tokyo and London: Apple Pie Press.

・文中での言及の仕方(引用注の場合)

山崎圭一は、~のように指摘している(2004、46)。

ある日本の経済学者は ~のように論じている(山崎 2004、46)

日本の経済学者は ~のように論じている(山崎 2004、46 ;

有江 2002、46 - 60)

Keiichi Yamazaki states that (2004, 46).

One Japanese economist states that (Yamazaki 2004, 46).

・説明注

番号をふって、脚注(foot notes)ないし章末の注(end notes)で、いろいろ補足説明を展開する。

3 - 5 論文らしい文章

ゼミによって卒論のスタイルは若干異なると思いますので(というのは、分野が異なるから)、詳細はゼミの指導教員の指示に従ってください。

| 論文らしくない | 論文らしい(注意箇所は下線) | 説明 |
|---|--|--|
| 僕は(私は)90年代の経済政策には欠陥があったと思う。 | <u>筆者は</u> 、1990年代の経済政策には欠陥があったとする多くの専門家の指摘を共有する。 <u>たとえば</u> 代表的なマクロ経済学者の 教授や教授がそのように評価しているが、ほかにも数多くの学者はそのように述べている。 | 小学生の感想文ではないので、君がどう思うかではなく、客観的な書き方が求められる。 |
| なぜそう思うかという、~(省略A)だからだが、ほかにも理由があつて、~(省略B)だからである。さらに、~(省略C)ということも、要因であろう。 | このように考えられる理由は、 <u>以下の通り3点ある。</u> 第1に、(省略A)。 第2に、(省略B)。 第3に、(省略C)。 | 論点を明確にし、いくつ論点があるのかを最初に明示する。 |
| 1993年のインフレ率は3千%だったが、95年の物価上昇率は30%に低下した。 | 1993年のインフレ率は3千%だったが、95年は30%に低下した。 | 同じことを表す場合は、同じ専門用語を用いる(ないしは省略する)。インフレ率と物価上昇率は微妙に異なる場合がある。専門用語の使用には注意する。 |
| 子どもたちに決まった時間にご飯を食べさせることが重要である。 | 子どもたちに定時の摂食を保證することが重要である。 | 類義語辞典などをつかって、堅い表現を探し出して、代替した。「こどもた」ちは漢字にせず、そのままでよい。 |
| 私は以上より、低金利政策は間違いであつたと主張したい。 | データAより、低金利政策の効果はきわめて限定的で政策は失敗であつたという結論を導き出すことができよう。 | 「私は、私は」と、自己主張するのではなく、 <u>データに語らせる</u> のが、最良であるし、逆に説得力がある。 |

その他：

- ・ 私がここで言いたいことは、 本稿の主要論点は、
- ・ ここまで書いて来て、わかつたことだが、
第1章から第4章から導き出される結論は、
- ・ 教授の考え方はおかしいと思う
教授の理論には、次の点で同意できない。
次の点で問題がある。

3 - 6 論文の推敲

私が論文をかくときの1つの方法は(いろいろなやり方を組み合わせているが)、とにかく文体は気にせず思いついたように書いてみて、あとから推敲して文章を「堅く」します。これはあくまで私のスタイルですが、ある大手新聞社の論説委員も同様の考えをお持ちでした(1990年頃の会話)。つまりまずは書いてみる。そしてあとから校正し、補正・追加する。

| | |
|-----|---|
| 改善前 | 今、地域交流科目があって、フェア・トレードと、神奈川県下の外国人居住者の生活支援のあり方という2つのプロジェクトが動いています。いずれも、私はまったく知らない分野です。学生と一緒に作業をしているわけです。フェア・トレードが何かも知らないのですが、以下は外国人居住者の問題を題材に、考えましょう。 |
| 改善後 | <u>2005年4月から(A)、横浜国大には(B)地域交流科目が導入されました。私が担当するプロジェクトとして、(C)フェア・トレードの研究・実践と、神奈川県下の外国人居住者の生活支援のあり方の研究</u> という2つのプロジェクトが、現在動いています。いずれも、 <u>私の知識が乏しい(D)分野</u> です。学生と一緒に作業をしているわけです。フェア・トレードも <u>論じるとおもしろいテーマですが(E)、</u> 以下では外国人居住者の問題を題材に、 <u>研究の進め方について(F)</u> 考えましょう。 |

- 改善点： A 具体的時間を入れた
 B 場所を限定した
 C 情報を正確にした(内容を制限した)
 DとE 表現をマイルドにした(必要以上に過激ないしは極端な表現を他の表現に代替した)
 F 詳しく形容ないし説明した

| | |
|------|--|
| やりすぎ | 2005年4月から、 <u>神奈川県横浜市の常磐台に立地する横浜国大(在籍者数約8000人)</u> には、地域交流科目が導入されました。私が担当するプロジェクトとして、フェア・トレードの研究・実践と、神奈川県下の外国人居住者の生活支援のあり方の研究という2つのプロジェクトが、現在動いています。いずれも、私の知識が乏しい分野です。学生と一緒に <u>1週間ないし2週間に2時間程度いくつかの空いたゼミ室を予約して借りながら、</u> 作業をしているわけです。フェア・トレードも論じるとおもしろいテーマですが、以下では <u>ブラジル人だけで全国で26万人いる外国人居住者の問題を題材に、研究の進め方について</u> 考えましょう。 |
|------|--|

下線部の情報は詳しすぎます。この段落で伝えたいことがらとは、強い関係はありません。不要ですから、削除し、どうしてもそういう情報を提供したい場合は、注に落とすか、別の段落で論じましょう。

3 - 7 剽窃(plagiarism)を避ける

パターン1 氏名を出し、文章は漢字の間違ひもふくめて、完全にそのまま引用する。

「 」に入れる。

P2 氏名を出し、文章は要約する。「 」は不要。自分の言葉に置き換える(類義語辞典が便利)

たとえP1やP2のルールを守っていても、あまりにも長い引用や要約は、剽窃の領域にはいる。

ただし長々と引用しても、それが批判の対象であれば、問題ない。批判的検討のためにはやむを得ない引用である。批判している以上、アイデアを借りたことにはならな

い。ただし、そこまで長々と引用して批判することに、建設的な意味があるのかどうかは、慎重に判断すべきであろう。

3 - 8 孫引きはしない

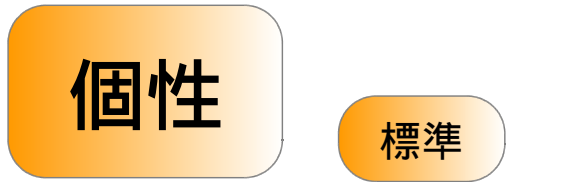

Aという学者が紹介しているBという学者の見解を、Aの本から引用することを**孫引き**という。これは恥ずかしい行為（簡単には入手できない歴史的文献の場合など、やむを得ない場合を除いて）。まずは、B先生の本そのものを入手し（購入ないし図書館で借りる）、直接そこから引用する。Bの文章をAが間違っ引用していることもあるので、孫引きは危険！

4 論文作成の「神話」、勘違い

4 - 1 個性と標準

個性はたしかに重要ですが、個性が全面にでると、単なる「癖」になる。

音楽の演奏：個性か標準か？ Paulo Meizen 先生（東京芸大客員教授）のレッスン・ビデオを観よう。

| | |
|--|---|
| 個性追求型 癖がある | 標準を基本に据える 個性はあとから自然とにじみ出てくる。 |
|  |  |

4 - 2 意見とは何か

よく、ゼミナールで、みなさんだまってしまうことがある。そのとき、教員は「君たちにも意見はないのですか」と、発言を強く求めますね。あのときのプレッシャーがトラウマになっていて、とにかく「意見を書かねば」と感じる人が多いようです。それは論文についての誤解かもしれません。

ちなみに、ゼミナールで求めているのは、何らかのコメント（感想、質問、疑問、意見など）であって、意見は求められているコメントの1つのタイプにすぎません。これはゼミの話なので、脇道に逸れました。

本題に戻ります。

< 論文のタイプ >

- ・ 政策主張・批判型
- ・ 仮説証明型
- ・ 事実確認型（fact-finding）
- ・ 事実分析型（明示的でなくても、ロジックとして仮説 証明の手続きが隠れていることがある）

論文にタイプもいろいろあります。いずれにせよ、意見は重要ですが、「事実に語らせる」ということが肝要です。ある経済政策の有効性を論じる場合、「成功した、成功した」と騒ぐのではなく、成功を示す指標・データを集めて解析し、結果を示せばよいのです。

4 - 3 文章のタイプ

- ・ エッセイ
- ・ 日記

- ・ Eメール
- ・ 新聞投稿
- ・ 事実報道
- ・ 学術誌向け論文
- ・ 学術的専門書（例：1冊12、000円で、500部）
- ・ 大学生向け教科書（例：1冊2800円で、3000部）
- ・ 卒業論文
- ・ 修士論文
- ・ 博士号請求論文

われわれ研究者として、いろいろな文章を書きます。卒論や修論は、われわれでもしんどい作業なのです。

5 日本語を磨く

- ・ 金田一春彦： 姉妹都市 は、大和言葉ではない。

- ・ 最初フミ（翻訳家）：英語にならない日本語

- ・ 英語と比べると、日本語らしさの一端ががみえてくる。

A falling stone killed the dog.

落石が犬を殺した

石が落ちてきて、犬が死んだ。

因果関係（causal relations）がクリアなのが英語、そうでないのが日本語

Give me five minutes.

5分待ってくれ（日本的英語：Wait for me for five minutes）。

Have you got the luck?

探してた本、あった？

（日本語的英語：Have you found the book that you have been looking for?）

- ・ 村上龍（『半島を出よ』幻冬舎）より

- ・ 強調語は、あえて削除する

改善前：その政策が大分県の地域経済に与えた影響はきわめて大きかった。

改善後：その政策が大分県の地域経済に与えた影響は大きかった。

- ・ 英文ライティングの参考書より

- あまり複雑な表現にしない。

- 否定よりは肯定を使う。

小テスト

このレジメの中に、形式上おかしいところがあります。どれでしょうか。

（日本語の推敲の不十分性は無視してください）。このレジメは、むろん論文ではないので、かまわないのですが、仮に論文だとして評価すると、いくつも形式上の問題点がありますよ。

配付資料：

* 紀要（きよう）である『エコノミア』から、論文

* Elementary English Writing からコピー